

山梨青年

YMCA NEWS

5月

年間聖句：何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。
一ペトロの手紙1 4章8節



2023年5月25日 発行
公益財団法人山梨YMCA
〒400-0032
甲府市中央3-10-7
Tel.055-235-8543
fax055-235-8553
www.yamanashiyymca.org
発行人 / 中田純子 編集人 / 風間奈月



YMCAの誕生日

露木 淳司

(2019年5月1日旧会館解体前日の創立記念早天祈禱会)

山梨YMCAは1946年5月1日、戦後の焼け野原になっていた甲府の町に生まれました。今年で77年、人間でいえば喜寿にあたります。私が2010年に七代目の総主事になって間もなく、第五代総主事の大澤英二氏の呼びかけで、この創立記念日を覚えて早天祈禱会を開こうということになりました。早天というのは、仕事のある平日でもできるようにと毎朝7時から開催するというのです。それより以前にもやっていたことがあるのかもしれませんが、特に記録はありません。最初のうちは7、8名集まるだけのささやかな会でしたが、YMCAに熱い思いを抱くクリスチャンの役員が呼びかけに応じてくれるようになりました。

まだ高校生で創立当初から関わっていたという大澤氏は、生涯をYMCAに捧げ尽くした山梨YMCA唯一の名誉主事です。甲府の町にYMCAが創立されたことへの感謝の気持ちを最後まで持ち続け、簡単な礼拝形式で毎年この日をお祝いしようと、この会を始められたのです。礼拝の後はサンドウィッチなどの軽食をご用意くださり、お茶をしながら当時YMCAが立ち上がったころの様子や、青山学院での学びと東京YMCA時代のお話、そこで出会った祥子夫人と、長年にわ

たって山梨YMCAを育ててきた経緯について、懐かしそうに雑談交じりで語られるのを興味深く聞かせていただきました。

回を重ねるうちに参加者も増えてきて、ある時は、今は亡き初代総主事の桑島一郎、慶子夫妻も共に九十才を超える年齢でご参加いただきました。生き字引のような存在だった大澤氏にとって今のYMCA会館は四つ目の会館にあたり、2020年の祈禱会はちょうど三代目の会館が取り壊される日の前日に当たり、備品什器の何もなくなった寂しい建物のホールの中で、その会館創立までの思いとその後の約50年にわたる喜びと苦勞の歴史を感慨深く語られました。そして最後に、この会館で思い出をたくさん創った子どもたちの描いた感謝の壁画の前で記念撮影をとりました。

大澤氏は、旧会館で最後の創立記念日を祝った半年後、11月の新会館での最初のバザーにその顔をお見せいただいたのち安らかに天に召されていきました。最後の祈禱会の会場となった新会館のホールは大澤英二記念ホール「ペテル(神の家)」と名付けられその後も5月1日にはYMCAの誕生日として創立記念早天祈禱会が早天7時から開催されています。

卒園式・お別れ会を終えて

野の花保育園

「種が蒔かれつながっている卒園式」



野の花保育園は2023年度で4年目を迎えました。64年続いた2歳児保育「つぼみグループ」の意思を引き継ぎ2020年春コロナ禍の中、新館オープンと共に企業主導型保育園を開園しました。2022年度に野の花保育園初の卒園児を送り出すことが出来ました。偶然にも卒園児2名のお母様は、つぼみの卒園生、また、おばあ様の出席と3世代が集う貴重な卒園式となりました。つぼみグループで蒔かれた種がこうして引き継がれていくことに喜びと感謝に包まれたこの時でした。

(中田 純子)



第1回 野の花保育園 卒園式 2023年3月25日

ぽかぽか教室

「お別れ会を終えて」



昨年度は保育園や幼稚園との平行通園のお友達を含めて3名の子どもたちが小学校へと巣立っていきました。3月31日のお別れ会では、これまでの様子をおさめた写真のスライドを見ながら成長を振り返り、活動で親しんでいた歌やダンスを皆で楽しみ、笑顔が溢れる会となりました。名前を呼ばれると「はい」と返事をして、皆の前でアルバムや証書を受け取る姿に保護者の方、そして職員も感動しました。「物事には始まりがあれば、終わりがある」日々の生活の中には、

このことの繰り返し。当たり前ようですが子どもたちにとって、このことの理解が視野を広げ成長に繋げていく大切なポイントです。巣立っていった子どもたちが輝く瞳をいつまでも持ち続けこれからも自分らしく成長していくことを楽しみにしています。(守屋 瑞穂)



りんごの木

「りんごの木 お別れ会」



りんごの木では、進級に伴い児童発達支援のお子さん2名が退所、放課後等デイサービスに移行となりました。修了証書を受け取る立派な姿に職員一同、胸がいっぱいになりました。

たくさん遊んで、たくさん笑って、たくさん泣いて、色々な経験をして心も体も大きくなりました。幼少期の心と体の土台作りをする大切な時期に、成長のひとつひとつに関われたこと、とても嬉しく思

います。ご家族、地域、関係機関の皆様の協力があり、子どもたちの成長があることに感謝いたします。子どもたちの輝かしい未来を心からお祈りします。(森 香里)



2023年度入職式

2023年度で新館4年目、新総主事2年目を迎え山梨YMCAは組織として動き出しています。各事業に厚みを持たせるため、経験者を採用いたしました。今年度は以下の通り4人の入職者を迎えることができました。（中田 純子）

新規職員 紹介

野の花保育園副園長

浅野 聖子



園児たちの日々違った表情に、私もいろいろな表情で応えています。保護者の方々ともつながって、より良い成長の手助けができるよう、これまでの経験を活かしつつ新しいことにも挑戦していきたいです。

野の花保育園

望月 由江



子ども達は日々成長しています。その一瞬一瞬を近くで感じ、子ども達の発見や驚きを共感しています。子どもの「やってみたい」を大切にし、子どものみらいと一緒に、この野の花保育園の先生達と作っていきたいです。

りんごの木

茄子川 理恵



日々子どもたちと一緒に楽しく活動し、1人ひとりの心に寄り添いながら特性を理解し、大切な幼児期・学童期の支援と療育の方法を学んでいきたいと思います。笑顔を大切にがんばりますのでよろしくお願いします。

南西きらきらプラス

松村 広大



私は、YMCAに通う子ども達が安心できる環境を整えたいと考えております。近年、山梨県においても、学校に通う行きづらさが社会問題となっております。そういったことから、YMCAが少しでも心の支えとなれるように子どもの変化に慎重に対応していきたいです。

第25回山梨YMCAインターナショナル・チャリティーラン

6月10日(土)開催



チャリティーランとは？

チャリティーランは障がいのある子どもたちを支援するイベントです。全国21か所で行われ、1万2千人以上のランナー、サポーター、ボランティアが参加するイベントです。このイベントによって得られた協賛金は山梨YMCA及び全国の約5,000人の障がい児支援事業に役立てられます。

<山梨YMCAの障がい児支援>

支援金は障がいのある子どもたちのための年間野外活動「フクロウくらぶ」の運営に役立てられています。2017年からは児童発達支援事業が始まり、2019年には、甲府市下石田に第2の拠点「南西望みの家A館」と、中央市に「田富恵みの家」が開設されました。2021年には、中・高生の居場所づくりの拠点として「南西望みの家B館」、教育心理研究所による「ココカラゼミ」が開設されました。これらの子どもたちも、チャリティーランによって支えられる野外活動に参加しています。これからも障がいのある子どもたちがキャンプや野外活動に参加できるよう、皆様のご支援をお願いします。



6月の予定

- 6月2日(金) 3日(土) 4日(日)
東日本区Y'sメンズクラブ大会イン甲府
- 6月10日(土)
山梨YMCAインターナショナルチャリティーラン
- 6月16日(金) 17日(土) 18日(日)
全国総主事大会 イン東山荘
- 6月24日(土)
山梨YMCA総会・職員研修



表紙の写真から



2020年5月1日の創立記念早天祈祷会の参加者による記念撮影。三代目の会館が解体される前日の最後のプログラム。背後の壁には、ありがとうの気持ちを含めて描かれた壁画が。ちょうどコロナが始まったばかりで、中央の大澤英二氏の片耳にはマスクがかかっている。(露木 淳司)